

次号予告

特集 大学とOR

- SCMの視点からみた大学生の学力低下問題 有馬昌宏（兵庫県立大学）
大学生の学力低下問題とその解決策 宇井徹雄（大阪工業大学）
文系でのOR教育に携わって 三道弘明（大阪大学）
大学業務改善に向けてのORの活用
—南山大学の事例を中心に— 澤木勝茂、鈴木敦夫（南山大学）
達成度評価システムによる大学院教育実質化
—筑波大学リスク工学専攻における取組— 宮本定明（筑波大学）
産業界から見た大学活動評価手法 山本誠司（三菱総合研究所）
JABEE（経営工学関連分野）の受審とその効果 小柳淳二（鳥取大学）、他
大学情報と情報技術の活用 井田正明（大学評価・学位授与機構）

編集後記

●米国ではオバマ氏が大統領に就任し、その就任演説では米国の厳しい現状を述べ、かつてもそのような状況を克服してきたし、今回も克服できる、そのためには国民は奉仕の精神を持ち社会に対する義務を負わなければならない、と述べました。日本でも状況は似たようなもので、日に日に厳しさを増しているように思います。今年は奉仕の精神と社会への義務を果たすことを心がけたいと思います。

●今月の特集では、東芝におけるORの適用事例をま

とめて紹介しています。この企画を検討し始めたときは、東芝の特集号なんてできるのだろうか？という思いでしたが、巻頭言にもあるように、山下氏を中心とする岡村会長の講演内容を検討したメンバーと執筆者の方々の協力により実現することができました。今ではこのような企画にかかわることができて幸運だったと思っています。社内には数多くのOR適用事例があると思いますが、読者の皆さんにその一端を知っていただければ幸いです。
(村井雅彦)

オペレーションズ・リサーチ 編集委員会

委員長 山下英明（首都大学東京）

委員 池邊淑子（東京理科大学）、岡野裕之（日本アイ・ビー・エム株）、木村新之介（東京ガス株）、草刈君子、栗田佳文（防衛省）、高野正次（日本電信電話株）、齋藤彰一（株構造計画研究所）、高嶋隆太（東京大学）、田島博之（秀明大学）、田村一軌（財鉄道総合技術研究所）、豊泉洋（早稲田大学）、生田目崇（専修大学）、廣津信義（順天堂大学）、牧本直樹（筑波大学）、増田浩通（千葉工業大学）、村井雅彦（株東芝）、八木恭子（東京大学）、渡邊勇（財電力中央研究所）

本誌に掲載された記事についての著作権は、社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会に帰属する。

オペレーションズ・リサーチ

平成21年4月号 第54巻 第4号 通巻580号

代表者 伏見正則

発行所 社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会

東京都文京区弥生2-4-16 学会センタービル

電話 03-3815-3351(代) FAX 03-3815-3352 〒113-0032

<http://www.orsj.or.jp/>

編集人 山下英明

発売所 株式会社 日科技連出版社

東京都渋谷区千駄ヶ谷5-4-2 〒151-0051

●本誌のご注文は直接

日本オペレーションズ・リサーチ学会へ 定価970円（本体924円）年間予約購読料11,040円（税込）

●本誌への広告お申し込みは明報社（3546-1337）へ